



介護保険料を軽減

所得が少なく介護保険料の支払いが困難な65歳以上（第1号被保険者）の人を対象にした、市独自の軽減制度があります。

問い合わせ 介護保険料の軽減・減免については介護高齢福祉課（市庁舎1階、☎65・4150）
介護保険料の納付相談・徴収猶予は収納課（市庁舎2階、☎65・4128 / 4129 / 4126）



市ホームページID.1005011

みんなで支え合う介護保険制度

介護保険制度は、介護が必要な高齢者を社会全体で支え合う制度です。介護保険の運営に必要な財源は、約半分を40歳以上の人負担する保険料で、残り半分を公費で賄っており、介護が必要となった人が、介護サービスを利用したときに、その保険料は使われています。誰もが安心して介護サービスを利用できるように、保険料の納付にご理解とご協力をお願いします。

65歳以上の方の令和5年度介護保険料額は、市民税の賦課額が確定した後、6月中旬に郵送でお知らせします。

なお、所得が少ない、災害による収入減など、保険料の支払いが困難な人を対象に、軽減や減免制度があります。



収入が少ない世帯の軽減制度

収入が少ない世帯の負担を緩和するため、市独自に軽減制度を実施しています。預貯金などの資産を活用してもなお生活が困難で、次の要件に該当する場合は、軽減の対象となりますので申請してください。

【要件】

- 世帯全員の令和4年中の収入合計額が基準額以下で、保険料段階が第2～5段階

基準額	単身世帯	130万円以下（入院か介護保険施設に入所の場合は110万円以下）
	2人世帯	190万円以下
	その他世帯	上記に1人増えるごとに60万円を加えた額以下

- 世帯1人当たりの令和4年中の収入額が老齢福祉年金相当額39万9028円以下で、保険料段階が第1～5段階

【受付期間】

5月8日(月)～12日(金)

期間を過ぎても随時受け付けていますが、期間内に申請をいただき、軽減が認められた場合は6月中旬にお知らせする保険料に反映されます。

【受付場所】

介護高齢福祉課（〒080・8670 西5条南7丁目1番地、市庁舎1階）
郵送による申請にご協力ください。

【申請に必要なもの】

- 申請書（昨年の該当者には受付開始前に郵送します。なお、市ホームページからもダウンロードできます。）
- 令和4年中の世帯全員の収入額が分かる書類（令和4年分の公的年金や給与などの源泉徴収票、遺族・障害年金の振込通知書など）

特別な事情による保険料の徴収猶予・減免

災害や失業などで著しい収入の減少があり、一時的に保険料が納められなくなった場合は、保険料の徴収が猶予されるか、減免されることがあります。

次の要件に該当する場合は、介護高齢福祉課総務・保険料係（減免）、収納課（徴収猶予）へ相談してください。

【要件】

- 災害や火災などで家財に著しい損害を受けたとき
- 死亡や心身障害、3カ月以上の長期入院による著しい収入減少があったとき
- 事業の休廃業や損失、失業により著しい収入減少があったとき
- 冷害などで農作物が不作になり著しい収入減少があったとき



受けて安心、がん検診のご案内

帯広市では、市民を対象にがん検診を実施しています。早期発見・早期治療のため、市の検診をご活用ください。

問い合わせ 健康推進課（東8南13、保健福祉センター内、☎25・9720）



市ホームページID.1004865

帯広市民の死因で最も多いのが「がん」です。早期のがんには、痛みなどの自覚症状が少ないため、初期の段階で見つけるには、定期的に検診を受ける必要があります。早期発見・早期治療により、死亡リスクを減らすため、少ない費用で受けられる市の検診を活用しましょう。（表）

表 がん検診の種類と対象者・検診料

検診名	検診内容	対象者 (令和6年3月31日 時点の年齢)	検診料	
			集団検診	施設検診
胃がん※ 検診	胃部X線検査	35歳以上	1,100円	
	胃内視鏡検査	50歳以上 (偶数年齢)		3,700円 国保2,600円
肺がん 検診	胸部X線検査 (必要時、 痰の検査)	40歳以上	400円 (痰の検査+610円)	
結核検診	胸部X線検査	15～39歳	無料	
大腸がん 検診	便潜血検査	40歳以上	550円	1,000円
前立腺がん 検診	血液検査	50歳以上の男性	600円	1,000円
子宮がん 検診	子宮頸部検査 (必要時、 体部検査)	20歳以上の女性 (偶数年齢)	1,320円 (体部検査+500円)	1,400円 (体部検査+900円)
乳がん 検診	マンモグラフィ 検査(X線)	40歳代の女性 (偶数年齢)	2,100円	2,100円
		50歳以上の女性 (偶数年齢)	1,750円	1,600円
肝炎 ウイルス 検診	血液検査	40歳以上で 過去に受診 していない人	B・C型 800円 B型 200円 C型 700円	B・C型 1,200円 B型 600円 C型 1,100円

※前年度に帯広市胃内視鏡検診を受診した人は、今年度の胃がん検診は受診できません。また、同じ年度内に、胃部X線検査・胃内視鏡検査の両方の受診はできません。

申し込み方法など

「施設検診」は医療機関で受診（随時）

実施医療機関は、コミセンなどに配置する「健康づくりガイド」や市ホームページを確認し、直接医療機関に「市のがん検診希望」と電話で申し込みください。

「集団検診」はコミセンなどで受診

日程や会場を、4月下旬の新聞折り込みや各戸に配布するチラシ、市ホームページで確認し、5月8日(月)から、釧路がん検診センター帯広出張所（☎27・2345）へ申し込みください。なお、6月1日(木)より、インターネットで、7月以降の検診予約ができます。
⇒土・日曜日の実施や女性限定の日、託児付きの日もあります。

検診料

検診料の自己負担は左表の通りで、市が助成し、自己負担額を軽減しています。

なお、次のいずれかに当たる人は無料（一部有料）ですので、申し込み時に該当する項目を伝えてください。

- 帯広市国民健康保険加入者（胃内視鏡検査のみ2600円）
- 後期高齢者医療制度加入者 ・医療保険各法の高齢受給者証所持者
- 生活保護受給者 ・受診日現在、市民税が世帯全員非課税の者

中学3年生は無料でピロリ菌検査を受けられます

日本で発見される胃がん患者の99%はピロリ菌に感染しており、5歳くらいまでに家庭内で感染すると言われています。胃炎や潰瘍を防ぎ、将来的な胃がんを予防するため、市では中学3年生を対象に尿検査によるピロリ菌検査を行っています。対象となる生徒と保護者には、後日、学校を通じてお知らせします。